

## 令和5年度事業報告

当協会は、令和5年度において、定款に掲げる目的を達成するため、寄附金、協賛金、賛助金、公益財団法人JKAからの競輪公益資金による補助金等を得て、以下の事業を実施した。

### 1 ツール・ド・北海道競技会の開催

第37回目を迎えた自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2023」は、令和5年9月8日から9月10日までの3日間にわたり、北海道の道北・道東地域（旭川市、帯広市、北見市等）において、一般公道を使用した町から町へと巡るロードレース（総走行距離532Km）を実施することとしていた。

本大会は、国際自転車競技連合（UCI）公認の国際大会（クラスME2.2）として、海外から5チーム、国内から15チーム（コンチネンタルチーム7、北海道地域選抜チーム1、大学生チーム7）の合計20チーム、選手98名が参加して行われた。

9月8日の第1ステージは、旭川市総合防災センター駐車場特設会場を出発したところであるが、道道291号を上富良野町市街地に向け進行中、競技選手1名が自家用車と衝突する事故が発生したことから、レースを中断し終了した。

以降の第2・第3ステージについては、審判長と協議の上、レースの中止を決定した。

9月10日には、チームコミセール等審判役員及び大会役員による大会を総括する講評を実施した。

第1ステージ（中断時の成績）の完走者は84名であり、競技結果（総合成績）は、次のとおりである。

- ・個人総合時間賞 留目夕陽（EFエデュケーション-NIPPOディベロップメントチーム）
- ・個人総合ポイント賞 留目夕陽（同上チーム）
- ・個人総合山岳賞 金子宗平（東京大学）
- ・団体総合時間賞 EFエデュケーション-NIPPO ディベロップメントチーム
- ・U26団体総合時間賞 EFエデュケーション-NIPPO ディベロップメントチーム

ツール・ド・北海道は、地元関係市町をはじめ、国や北海道等の関係行政機関から、積極的な支援・協力を受けて実施しており、特に地元市町からは、コース整理員の配置、会場等設営協力、特産品の提供など、地域を挙げての支援・協力を受けているところである。

本大会の開催を通じて、参加選手、特に大学生などの若手選手にとっては、本格的なロードレースや貴重な国際大会の経験を積むことで、競技力向上と人材育成に資する場であり、また審判・監督等指導者のノウハウや経験・技能を蓄積する重要な場として高い評価をうけているところである。

昨年の事故発生を踏まえて、「ツール・ド・北海道安全対策検討会」を設置し、様々な観点から安全対策の検討を進めているところである。

## 2 サイクルスポーツの普及・振興及び自転車利用の普及・啓発のための事業

定款に定める当協会の目的と同一の目的を有する他のサイクルスポーツ関係のイベントについては、次のとおり協力（後援）を行い、サイクルスポーツの普及・振興等に寄与した。

- (1) 5/28 第42回道新杯サイクルロードレース（長沼町）
- (2) 6/4 The30th Mt.Moiwa hill climb（札幌市）
- (3) 8/20 第21回Sapporo小・中学生サイクルロードレース（札幌市）
- (4) 8/20 第16回モエレ沼タイムトライアル（札幌市）
- (5) 9/24 第64回札幌市民体育大会サイクルロードレース（札幌市）

## 3 その他

### (1) 理事会

ア 第1回 令和5年5月15日

令和4年度事業報告及び決算について

定時評議員会の開催について

ツール・ド・北海道2024UCIカレンダー登録申請について

（公財）JK A補助金交付決定の受諾等について

イ 臨時 令和5年9月19日

ツール・ド・北海道2023の中止について

ウ 第2回 令和6年3月12日

ツール・ド・北海道について

令和6年度事業計画及び収支予算について

### (2) 評議員会

ア 定時 令和5年6月5日

令和4年度事業報告及び決算について